

北海道開発局事業審議委員会（令和7年度第1回） 審議案件一覧【再評価】《道路事業》

	事業名	再評価理由	上段：前回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)		進捗率 ※1	事業の効果等	全体事業			残事業			地方公共団体等の意見	対応方針(※)	備考
			下段：今回再評価		事業化 年度	完了予定 年度	一体評価	単体評価			費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益	費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益			
再～3	北海道横断自動車道 網走線 足寄～北見	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 (R3)	足寄～北見は、十勝圏とオホーツク圏の連携機能の強化を図り、災害に強い道路ネットワークの構築、安全性や輸送効率の高い物流ネットワーク形成による地域産業の活性化、観光拠点への到達性向上による観光振興等を目的とした事業。	H15	R8	2,453	1,072	67%	災害時のリダンダンシー確保 災害時の迂回損失の解消 冬期交通障害時のリダンダンシー確保 救急搬送の速達性・安定性向上 物流の輸送効率化 周遊観光の活性化	一体：1.2 単体：1.02	1,853	2,161	一体：2.2 単体：2.8	763	1,665	「北海道横断自動車道 網走線 足寄～北見」事業を「継続」として「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、高規格道路網の構築によるオホーツク圏と道央・十勝・釧路圏の連絡強化を図り、災害に強い道路ネットワークの構築、安全性や輸送効率の高い物流ネットワーク形成による地域産業の活性化、観光拠点への到達性向上による観光振興等の支援に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業（d）事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 (R7)	同上	H15	R13	3,900	1,210	69%	農水産品の流通利便性向上 救急搬送の速達性・安定性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 冬期都市間バス運行の利便性向上 広域周遊観光の活性化	一体：1.2 単体：0.9			一体：2.1 単体：3.1					
											一体：(1.7) 単体：(1.4)	5,539	6,815	一体：(3.1) 単体：(4.1)	1,589	3,384			
再～4	一般国道39号 （北海道横断自動車道 網走線） 端野高野道路	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 (R3)	端野高野道路は、十勝圏とオホーツク圏の連携機能の強化を図り、災害に強い道路ネットワークの構築、安全性や輸送効率の高い物流ネットワーク形成による地域産業の活性化、観光拠点への到達性向上による観光振興等を目的とした事業。	H31	R13	2,453	480	3%	災害時のリダンダンシー確保 災害時の迂回損失の解消 冬期交通障害時のリダンダンシー確保 救急搬送の速達性・安定性向上 物流の輸送効率化 周遊観光の活性化	一体：1.2 単体：1.5	1,853	2,161	一体：2.2 単体：1.6	763	1,665	「一般国道39号（北海道横断自動車道 網走線）端野高野道路」事業を「継続」として「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、高規格道路網の構築による圏域中心城市の北見市と物流・観光拠点間の連絡強化により、地域産業の活性化、観光拠点への到達性向上による観光振興等の支援に貢献することから、災害に強い道路ネットワークの構築に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回 (R7)	同上	H31	R13	3,900	589	20%	災害時の緊急輸送ルートの強化 農水産品の流通利便性向上 救急搬送の速達性・安定性向上 冬期都市間バス運行の利便性向上 広域周遊観光の活性化	一体：1.2 単体：2.9			一体：2.1 単体：4.0					
											一体：(1.7) 単体：(4.3)	5,539	6,815	一体：(3.1) 単体：(5.8)	1,589	3,384			
再～5	一般国道39号 （北海道横断自動車道 網走線） 女満別空港網走道路 （女満別空港～網走呼人）	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	—	女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）は、十勝圏とオホーツク圏の連携機能の強化を図り、災害に強い道路ネットワークの構築、安全性や輸送効率の高い物流ネットワーク形成による地域産業の活性化、観光拠点への到達性向上による観光振興等を目的とした事業。	R6	R22	3,653	570	0%	農水産品の物流ルートの速達性・安全性向上 高次医療施設への速達性・安定性向上 現道課題を回避・解消し、災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保	一体：1.2 単体：1.1	4,747	5,746	—	—	—	「一般国道39号（北海道横断自動車道 網走線）女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）事業」を「継続」として「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、農水産物をはじめとする物流やオホーツク地域唯一の第3次医療機関がある北見市への救急搬送において速達性や安全性の向上、また広域周遊観光の促進、さらには異常気象時の通行機能の確保などに寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト削減を図り、効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	
			今回 (R7)	同上	R6	R22	3,900	570	1%	災害時の緊急輸送ルートの強化 農水産品の流通利便性向上 救急搬送の速達性・安定性向上 冬期都市間バス運行の利便性向上 広域周遊観光の活性化	一体：1.2 単体：1.1			一体：2.1 単体：1.2					
											一体：(1.7) 単体：(1.9)	5,539	6,815	一体：(3.1) 単体：(1.9)	1,589	3,384			

再～6	日高自動車道 (一般国道235号) 厚賀静内道路	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 (R 4)	厚賀静内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした事業。	H7	R11	3, 203	873	57%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートへの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	一体：1.2 単体：1.1	4, 410	5, 365	一体：1.8 単体：3.5	931	1, 678	「日高自動車道（一般国道235号）厚賀静内道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業 継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業			
			今回 (R 7)	同上	H7	R14	4, 318	985	73%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 緊急輸送ルートへの強化による迅速な道路開闢の支援 救急搬送の速達性・安定性向上 移住・交流人口の拡大による地域活性化	一体：1.2 単体：0.9	8, 732	10, 770	一体：2.1 単体：5.1	895	1, 871				一体：(3.0) 単体：(7.1)	一体：[3.7] 単体：[8.5]	
			前回 (R 4)	静内三石道路（静内～東静内）は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした事業。	R4	R14	3, 203	520	0%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 水産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートへの強化 救急搬送の安定性向上 観光地への移動利便性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	一体：1.2 単体：0.97	4, 410	5, 365	一体：1.8 単体：0.97	931	1, 678				「日高自動車道（一般国道235号）静内三石道路（静内～東静内）」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、軽便馬及び農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、救急搬送時間の短縮、大規模地震・津波発生時の避難及び緊急車両の確保、日高・十勝を走る周道観光等の振興などに寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト削減を図り、効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業 継続	
			今回 (R 7)	同上	R4	R14	4, 318	520	3%	畜産品の流通利便性向上 農産品の流通利便性向上 緊急輸送ルートへの強化による迅速な道路開闢の支援 救急搬送の速達性・安定性向上 移住・交流人口の拡大による地域活性化	一体：1.2 単体：1.1	8, 732	10, 770	一体：2.1 単体：1.1	895	1, 871						
再～8	一般国道5号 創成川通	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 (R 5)	創成川通は、札幌都心部と札幌自動車道の区間を地下トンネルで結ぶことにより、札幌都心部と高速道路のアクセス強化を図り、時間信頼性の向上や都心部への物流交通の安全性向上を目的とした北37条東1丁目から大通東1丁目に至る延長4.8kmの事業案。	R3	R12	1, 370	1, 200	2%	札幌都心部と高速道路のアクセス強化 道路交通の安全性向上 物流交通の速達性向上 高次医療機関への速達性向上 沿線における交通環境の向上 冬期におけるバス利便性向上	一体：1.5 単体：1.5	1, 277	1, 876	一体：1.5 単体：1.5	931	1, 419	「一般国道5号 創成川通」は、本市の骨格道路網を形成する重要路線のひとつとして位置づけられており、札幌都心と北海道全域が繋がる広域的な道路ネットワークの強化に資するとともに、市民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の「対応方針（原案）」案のとおり「継続」とすることについて異議はございません。 なお、事業の実施にあたっては、適切な迂回路の運用や発生土の管理、騒音対策等を行い市民生活への影響を最小限に抑えるとともに、新技術の活用や他事業事例を参考とし、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。併せて、段階的な供用を含めた整備効果の早期発現、及び、計画的なまちづくりを促進するための開通予定の早期公表など、特段のご配慮をお願いいたします。	事業 継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業			
			今回 (R 7)	同上	R3	R16	1, 979	1, 809	5%	札幌都心部と高速道路のアクセス強化 道路交通の安全性向上 物流交通の速達性向上 高次医療機関への速達性向上 沿線における交通環境の向上 冬期におけるバス利便性向上	一体：1.2 単体：1.04	1, 736	2, 025	一体：1.1 単体：1.2	1, 235	1, 450				一体：(1.8) 単体：(1.8)	一体：[2.3] 単体：[2.3]	
			前回 (R 5)	創成川通は、札幌都心部と札幌自動車道の区間を地下トンネルで結ぶことにより、札幌都心部と高速道路のアクセス強化を図り、時間信頼性の向上や都心部への物流交通の安全性向上を目的とした北37条東1丁目から大通東1丁目に至る延長4.8kmの事業案。	R3	R12	1, 370	1, 200	2%	札幌都心部と高速道路のアクセス強化 道路交通の安全性向上 物流交通の速達性向上 高次医療機関への速達性向上 沿線における交通環境の向上 冬期におけるバス利便性向上	一体：1.5 単体：1.5	1, 277	1, 876	一体：1.5 単体：1.5	931	1, 419				「一般国道5号 創成川通」は、本市の骨格道路網を形成する重要路線のひとつとして位置づけられており、札幌都心と北海道全域が繋がる広域的な道路ネットワークの強化に資するとともに、市民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の「対応方針（原案）」案のとおり「継続」とすることについて異議はございません。 なお、事業の実施にあたっては、適切な迂回路の運用や発生土の管理、騒音対策等を行い市民生活への影響を最小限に抑えるとともに、新技術の活用や他事業事例を参考とし、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。併せて、段階的な供用を含めた整備効果の早期発現、及び、計画的なまちづくりを促進するための開通予定の早期公表など、特段のご配慮をお願いいたします。	事業 継続	
			今回 (R 7)	同上	R3	R16	1, 979	1, 809	5%	札幌都心部と高速道路のアクセス強化 道路交通の安全性向上 物流交通の速達性向上 高次医療機関への速達性向上 沿線における交通環境の向上 冬期におけるバス利便性向上	一体：1.2 単体：1.04	1, 736	2, 025	一体：1.1 単体：1.2	1, 235	1, 450						

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費（単体評価）に対する進捗率を示す

※2 1段目 社会的割引率を4%に設定して算定したB/C
(2段目) " を2%に設定して算定したB/Cの参考値
(3段目) " を1%に設定して算定したB/Cの参考値

重点審議案件

重点審議案件の選定要件

- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
(b) 推定便益が顕著に減少する事業
(c) 推定事業費が顕著に増加する事業
(d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
(e) その他の要因